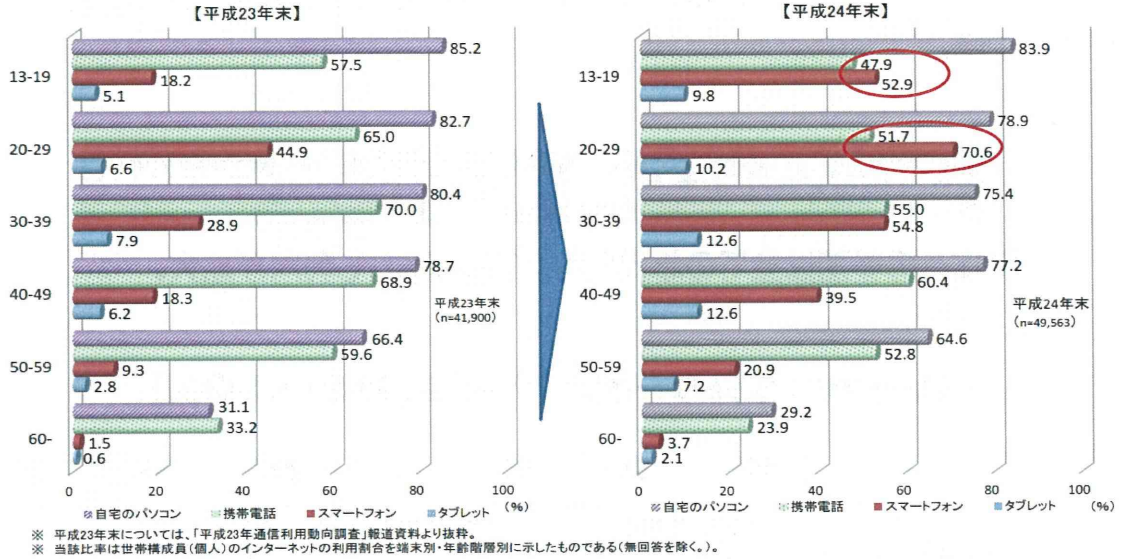


**インターネットの世代別個人利用の状況(世代別人口普及率)**

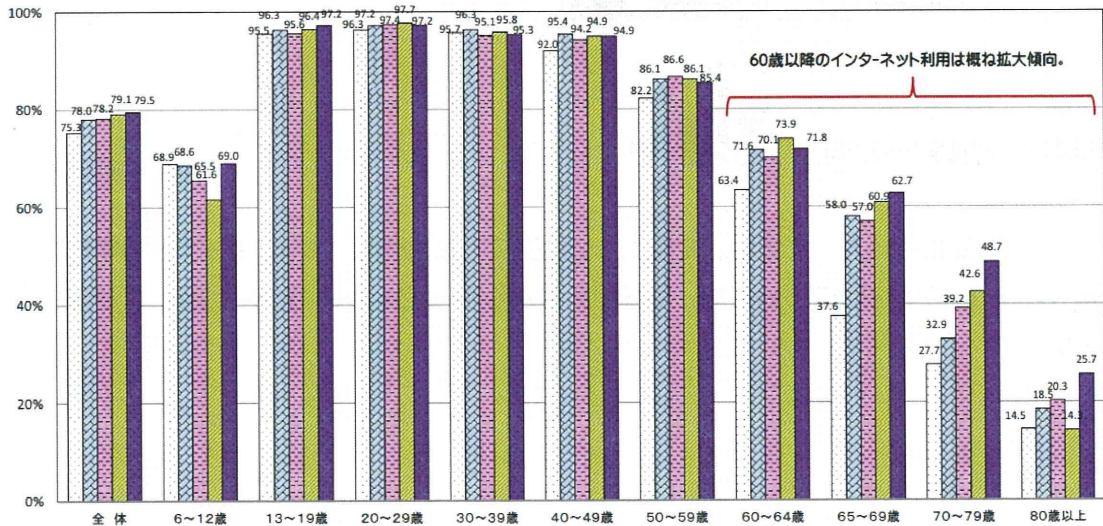
50代以下の世代でスマートフォンの伸びが顕著に。とりわけ20代以下では、スマートフォンが従来型携帯電話を逆転。



平成 23 年から平成 24 年の変化として 10 代、20 代では、従来型携帯電話からスマートフォンへと変化。30 代も変化も近いと考えられる。また、どの層にもタブレットという新しい端末が増え、インターネットにアクセスする手法として、PC、スマホ以外にタブレット、また新たなデバイスが早いスピードで変化していくことが予測される。

**2 インターネット利用動向③(年齢階層別インターネット普及率)**

13歳～49歳までのインターネット利用率が9割を超え飽和状況にあるのに対し、60歳以上は概ね拡大傾向。

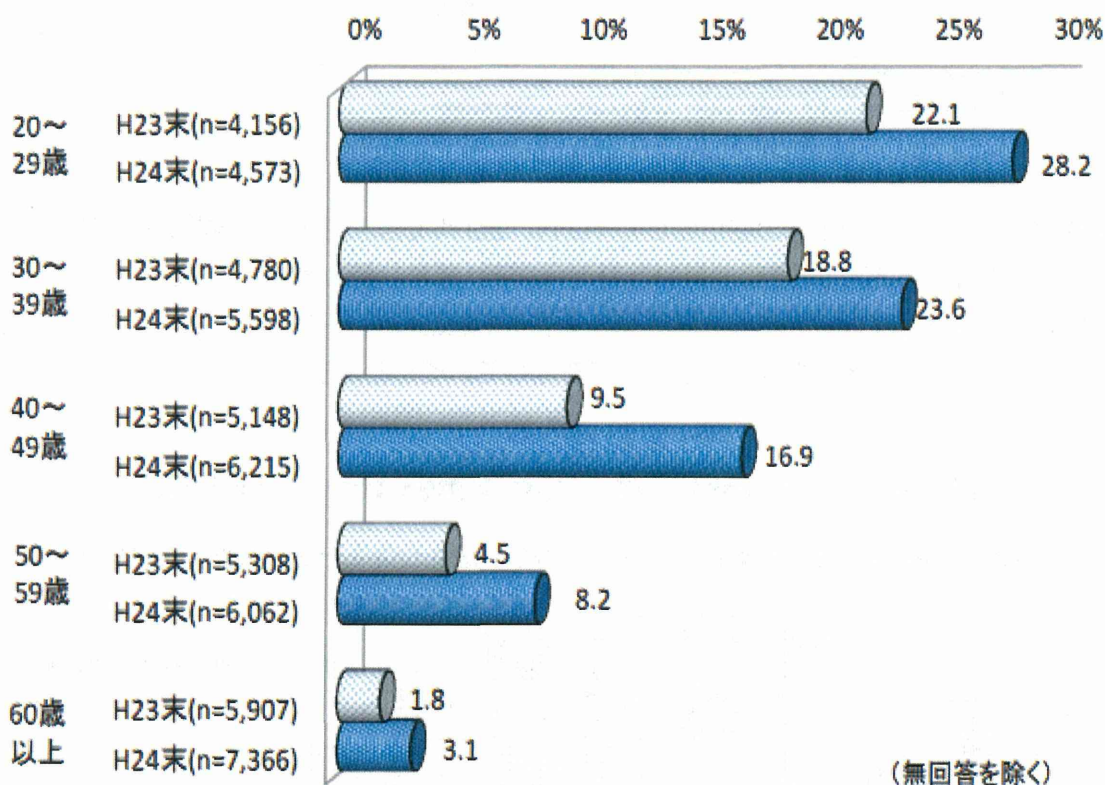


年齢別のインターネット利用状況であるが、13歳から49歳までのインターネット利用率が90%を超え、6歳～12歳でも70%弱の利用率となっている。また60歳以降のインターネット利用率も増加傾向にあり、インターネットから情報を得ることがどの年代でも増加している。

## SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用状況

SNSへの参加は全ての年代において昨年よりも利用が拡大。

### 【ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)への参加】



SNS の利用は若い人ほど多い。ただし、SNS ごとに利用しているユーザーの年代は異なる。また、どの年代層においても、平成23年より平成24年の方が、利用者数が増加している。

### ★★★フィルタリング調査★★★

【調査の背景・目的】今回のアクセス効率を見ると、学校でのサイト誘導カード配布によるアクセス効率が1.5%で低率であったため、その背景にどのような要因が関与しているのか、参加校のうちの1校の高校生にアンケート調査を実施した。その結果、ほとんどはもともとアクセスしていなかったが、アクセスしようとしてアクセスできなかったと回答した生徒がいたことから、本サイトには性的な内容を扱っており、またメンタルヘルスのコーナーでは自殺等についても扱い、海外のCM動画を掲載しているなどのことから、アクセスできなかった背景に未成年向けスマートフォンのフィルタリング機能が影響している可能性を調べるための参考情報を収集した。

#### ■ 3キャリアの現状

【docomo】[https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/access\\_limit/](https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/access_limit/)

【au】<http://www.au.kddi.com/mobile/service/featurephone/safety/anshin-access/>

【softbank】[http://www.softbank.jp/mobile/service/web\\_safety/about/access\\_control/](http://www.softbank.jp/mobile/service/web_safety/about/access_control/)

2009年4月1日に「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備などに関する法律」が施行された。これに伴い、2011年ごろより3キャリアでは、保護者が子どもに対して購入した携帯電話にはフィルタリングサービスが適用され、不要の場合に不要申込書でサービスを停止することになった。これにより、子どもたちの携帯電話には原則フィルタリングが設定されている状態となっている。

#### ■ フィルタリングサービスの内容

##### 【小学生向け】

ホワイトリスト方式。キャリアがOKとリスト化したサイトにしか入ることが出来ない。閲覧できるサイト自体が少ない。

##### 【中・高生向け】

- ・ ブラックリスト方式。キャリアがNGとリスト化したサイトへは入ることが出来ない。ここに、保護者独自の設定を入れることも可能。(キーワード方式、レイティング方式)

## ■ 実際のアクセス可能性調査

### ① フィルタリングサービスの中でも【小学生向け】に近い形で調査。

●●●● au LTE 17:38 92%

search.kids.yahoo.co.jp

Yahoo! Kids 検索

「http://www.wysh.jp/play/」に関する情報は見つかりませんでした。  
別の言葉で、もう一度さがしてみよう。  
「入力ヒント」と「みんながよく調べる言葉ベスト10」も参考にしてみよう。

① 入力ヒント

書きやすい文字に書きつけよう！

・まちがえずに正しく入力できていますか？

× りょりり ○ りょりり  
× おにのこ ○ おにのこ  
× こめくり ○ こめくり  
× カレライス ○ カレライス

・形が似ている文字をまちがえていませんか？

× ゲーム (マイナス記号) ○ ゲーム (ひらがな)  
× ニュース (漢数字) ○ ニュース (カタカナ)

・ひらがなを漢字にしてみましょう。  
ちいきのくらし → 地域のくらし

・ながい文章は短い言葉に区切ってみましょう。  
お米の作り方について → お米 作り方

・同じ意味をもつ言葉でも調べてみましょう。  
森のうつかり → 森の歴史

みんながよく調べる言葉ベスト10

順位	キーワード	更新
1	ゲーム	*
2	人のたんじょう	*
3	ピットワーク	*
4	地獄	*
5	志山	*
6	月	*
7	草薙	*
8	読書感想	*
9	音楽	*
10	地球温暖化	*

\*先週1週間に調べられた言葉の検索回数をもとに順位を決定しています。順位の変動を\*\*で表示しています。(毎週月曜日更新)

Copyright © 2013 Yahoo! Japan Corporation. All Rights Reserved.

(補足) 検索結果として、「サイトは見つかりませんでした」と表記されてしまい、アクセスすることが出来なかった。ホワイトリスト方式となっているため、今回の我々のサイトがNGというよりは、ほとんどのサイトがアクセス結果に表示されなかった。

### ② フィルタリングサービスの中でも【中・高校生向け】に近い形で調査。

契約状況を再現するため、大手フィルタリングソフトで実験。ブラックリスト方式部分の調査が可能。

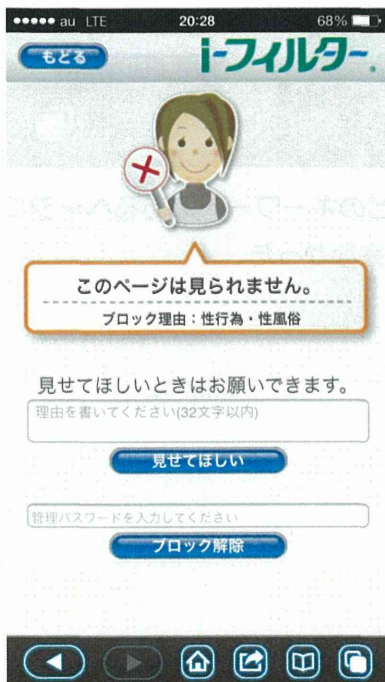
IOS用

有害サイトフィルタリングブラウザ  
**i-フィルター**  
for iOS

iPhone、iPad、iPod touchをはじめとしたiOS端末専用フィルタリングブラウザ「i-フィルター for iOS」。  
離れた場所から利用状況の確認やフィルタリング強度の変更ができたり、インターネットの利用時間も管理できるので、お子さまがいつ・どこにいても安心です。

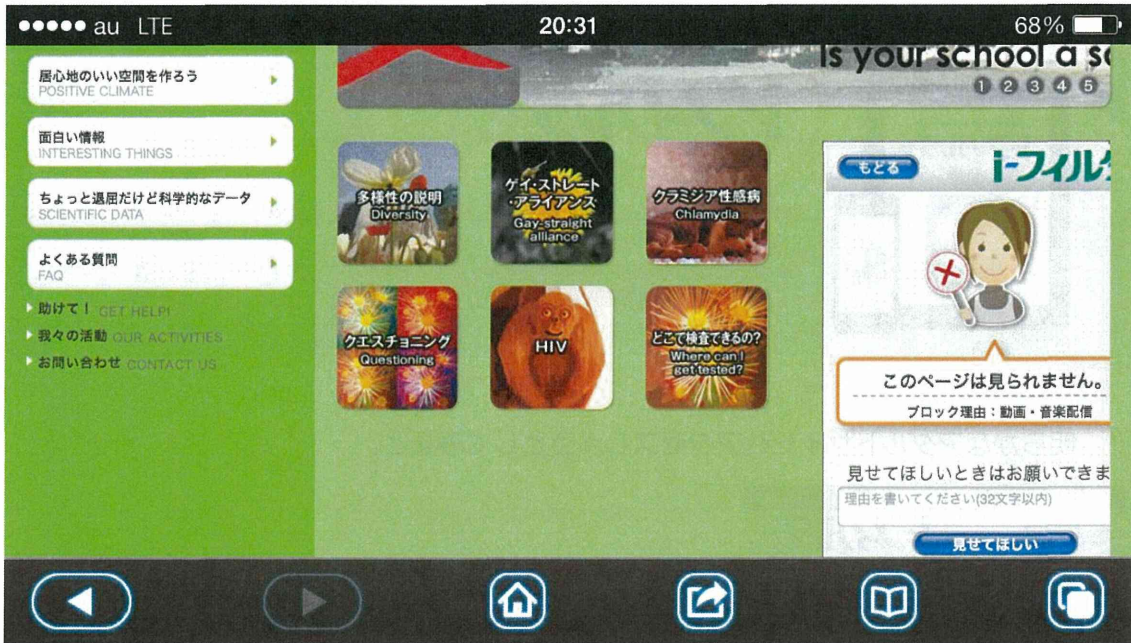


① 明らかなアダルトサイトへアクセスしようとしてみると、



アクセスできた。

② Out of the box サイトへアクセスしようとしてみると、



アクセスできた。英語ページも「自殺」や「セックス」などのキーワードのあるページにも移動出来た。ただし、Youtube コンテンツへの移動は出来なかった。

■ サイトの登録状況（ブラックリスト方式調査）



<http://category.netstar-inc.com/>

フィルタリング（ブラックリスト方式）の登録状況をまとめるサービスを見つけた。ネットスター社では適正なフィルタリングを取りまとめるサービスを行い、各キャリアの特に、

ブラックリスト方式に影響を及ぼしていると思われる。

	ブラックリスト方式	ホワイトリスト方式
NTT ドコモ	<a href="#">iモードフィルタ</a>	<a href="#">キッズiモードフィルタ</a>
	<a href="#">(サービスメニューの詳細)</a>	
KDDI	<a href="#">EZ 安心アクセスサービス・</a>	<a href="#">EZ 安心アクセスサービス・</a>
	<a href="#">特定カテゴリ制限コース</a>	<a href="#">接続先限定コース</a>
ソフトバンクモバイル	<a href="#">ウェブ利用制限</a>	<a href="#">Yahoo!きっず</a>
ウィルコム	<a href="#">有害サイトアクセス制限サービス</a>	なし
イー・モバイル	<a href="#">Web アクセス制限</a>	なし

例えば、out of the box サイトが「アダルト」に分類されていれば、サイトはブラックリストにリスト化され、フィルタリングされた携帯電話では、閲覧が出来なくなる。このサイトでは、サイトの状況を調べることが出来る。

**確認結果**

■確認したURL <http://www.wysh.jp/qv/>

**ネットスターフィルタリングカテゴリ**

NTTドコモ、au(安心アクセスサービス)、ウィルコム、イー・モバイルをお使いの方またはパソコン等のフィルタリングサービス

■分類結果 登録されていません

**ネットスターフィルタリングカテゴリ for Kids**

ソフトバンクモバイル、au(安心アクセス for Android™/for iOS)、ファミリーブラウザをお使いの方

■分類結果 登録されていません

検索結果は、上記のとおりで、フィルタリングの影響は受けていないサイトということになっています。以下、サイト内説明引用。

~~~~

URL リストに登録されていないサイトについては、ネットスターが URL リストを提供している各社の携帯フィルタリングサービス（規制リスト方式）では閲覧規制の対象になりませんので、通常通り閲覧が可能です。

~~~~

仮に「アダルト」などのカテゴリ分類をされてしまった場合でも、このサイトから、適正

な情報であると申告すれば、ブラックリストから外れるようになっています。

#### できること

ネットスターのURLリストを利用している携帯電話のフィルタリングサービスで、アクセスしようとしているサイトやあなたが運営に関わっているサイトについて、「カテゴリ分類がおかしいのでも？」「子どもに見せたくないアダルトサイトだと思うけどカテゴリ分類されていないようだ」など、カテゴリ分類に不備や不足などを見つけた場合は、ネットスターにお知らせください。

[現時点でのカテゴリ分類を確認するには？ >>](#) [カテゴリ分類とは？ >>](#)

#### カテゴリ分類がおかしいようだ

例)内容に当てはまるものが無いのに「アダルト」に分類されている。

#### 見たくない・見せたくないサイトを見つけた

例)過激な性的画像が掲載されているサイトだが、まだカテゴリ分類されていないようだ。



知らせる

迷惑メールにお困りの方は→[迷惑メール専用窓口から通報](#)

その他、削除すべきと思われるウェブサイトや書き込みを見つけた場合は→[インターネットホットラインセンターへ通報](#)

[インターネットホットラインセンターとは？ >>](#)

尚、2012年10月の段階で、19億のサイトが登録されているようです。

## ■ その他のフィルタリング

### ・ キーワード方式

特定のキーワードが入っているサイトに侵入できなくするフィルタリング方式。このフィルタリング方式は、良いサイト悪いサイト関係なく、キーワードで判断しています。この方式を突破するには、全てを画像で作ったサイトにする必要が生じる。

### ・ レイティング方式

管理者（親）の判断でサイトの判定を行い設定するフィルタリング方式。親の判断で様々な設定が決まりますので、その設定によっては、out of the box のサイトに侵入できなくなる。

## ■ まとめ

### 【小学生向け】

ホワイトリスト方式にリスト化されるサイトは限定的なため、out of the box のサイトにはたどり着けない。

### 【中・高生向け】

ブラックリスト方式には登録されていないが、out of the box のサイトにたどり着けるか



は、親の設定次第となる。特に、キーワード設定で「セックス」「自殺」などを設定されると、サイトにはアクセスできない。また、管理者（親）のフィルタリング設定の強弱で、入れたり、入れなかったりすることになる可能性があると考えられる。これらの追加設定を現在親がどの程度行っているかがわからなければ、今回の調査で、サイトにアクセスしようとしたけどアクセスできなかった生徒がどのぐらいいるのかは把握できない。

最終的には、小学生、中学生、高校生の実機（スマートフォンや携帯電話）でフィルタリング状況調査する必要がある。

仮に、アクセスできなかった人が少なければ、現状のまま開発を進めて問題ないが、多かった場合は、フィルタリングに問題のあるキーワードは画像化したり、文章自体を工夫する必要があると考えられる。

## 2. スクール戦略を用いた予防介入研究

### 2-1. 若者の性に関する知識・意識・行動についての研究

#### インターネット調査

木原雅子（京都大学大学院医学研究科）  
Patou Masika Musumari（京都大学大学院医学研究科）  
Teeranee Techasrivichien（京都大学大学院医学研究科）  
S. Pilar Suguimoto（京都大学大学院医学研究科）  
Sakol Sopitarchasak（京都大学大学院医学研究科）  
木原彩（京都大学大学院医学研究科）  
Bhekumusa W. Lukhele（京都大学大学院医学研究科）  
Christina El-Saaidi（京都大学大学院医学研究科）  
本多由起子（京都大学大学院医学研究科）  
鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部）

#### 【 研究の背景・目的 】

1999年に、経口避妊薬（ピル）の解禁を目前にランダムサンプリングによる全国国民性行動調査を実施し、当時の日本人の性行動の詳細を調査した。その後、地域の限定された調査や中学生や高校生等対象者が限られた調査は実施されてきたが、対象が中学生・高校生ということもあり、性行動の詳細な実態を捉える質問項目を含める事ができず、10代の人工妊娠中絶の減少、性感染症の減少にともない、教育現場での性教育の優先順位が低くなり、学校が性行動調査に極めて否定的・消極的になり、調査に応じる学校がほとんどなくなってしまった。その中で、かろうじて、若年の性行為容認意識と性経験率の動向のみを測定している現状であった。そこで、このたび、2000年初期の若者の性行動調査と共通の質問項目により、15年後の現在の若者の性行動を比較することにより、これまでに本研究班で開発した教育モデルを現在の若者の実態により即した性教育に修正の際の参考情報を収集するために、今年度は全国の若者を対象とした性に関する知識・意識・行動に関する調査（KAP調査）を実施した。

#### 【 方法 】

##### 【研究デザイン】

- **対象者**：某社に登録している web モニター1,134,633 人のうち、包含基準（未婚の18-19歳の男女）を満たす10,343人を対象に、性に関する知識・意識・行動に関する調査を実施した。
- **質問項目**：質問は合計30項目で、①HIV感染者が使用した食器を共有するとHIVに感染する可能性がある（1.正しい、2..正しくない、3.わからない）、②HIV感染者が使用したトイレを使うと、HIVに感染する可能性がある（1.正しい、2..正しくない、3.わからない）、③口を使ったセックス（オーラルセックス）で、口から性器に、性器から口に性感染症が感染することがある（1.正しい、2..正しくない、3.わからない）、④性感染症にかかっていると何倍もHIVに感染しやすくなる（1.正しい、2..正しくない、3.わからない）、⑤健康に見えても、HIVに感染

していることがある (1.正しい、2..正しくない、3.わからない)、⑥性感染症にかかると不妊になることがある (1.正しい、2..正しくない、3.わからない)、⑦性感染症にかかっても症状が出ないことが多い (1.正しい、2..正しくない、3.わからない)、⑧HIV に感染後、5-10 年は症状がない (1.正しい、2..正しくない、3.わからない)、⑨全国どこの保健所でも無料匿名のエイズ検査を受けることができる (1.正しい、2..正しくない、3.わからない)、⑩あなたはセックスの経験がありますか (1.はい、2..いいえ)、⑪初めてのセックスは何歳のときでしたか (「        」歳)、⑫これまでのセックスの相手の数は全部で何人ですか (「        」人)、⑬これまで、同じ時期に複数の相手と性関係にあったことがありますか (1.はい、2..いいえ)、⑭一番最近のセックスのとき、コンドームを使用しましたか (1.使った、2.使わなかった、3.わからない)、⑮一番最近のセックスのとき、コンドームを使うかどうかは誰が決めましたか (1.自分、2.相手、3.両方、4.わからない)、⑯過去6ヶ月間のセックスの時、コンドームは使いましたか (1.一度も使用しなかった、2.使用したほうが多かった、3.使用したり使用しなかったり半々、4.使用するほうが多かった、5.毎回使用した、6.過去6ヶ月間ではセックスをしていない)、⑰金銭を払って (もらって) セックス (性的行為すべてを含む) をしたことがありますか (1.はい、2.いいえ、3.わからない、4.答えたくない)、⑱平均すると月に何回くらいセックスをしますか (\*月平均が1回未満の方は「0」とお答えください。\*セックスの相手がいる方に限定してお答えください) (「        」回)、⑲決まったパートナーがいたら、その人とセックスしたいと思いませんか (1.とてもそう思う~5.まったくそう思わないの5段階)、⑳性的な相手として魅力を感じるの、次のうちどれがあてはまりますか (1.男性だけ、2.女性だけ、3.男性にも女性にも、4.どちらも関心がない、5.わからない、6.答えたくない)、(21) 多数の相手と性関係をもっていないなら、性感染症にかかる心配はない (1.とてもそう思う~5.まったくそう思わないの5段階)、(22) ピルを使っているならコンドームを使う必要はない (1.とてもそう思う~5.まったくそう思わないの5段階)、(23) あなたは自分がどの程度、性感染症に感染する可能性があると思いますか (1.可能性が非常に高い、2.可能性は高いほうである、3.可能性は中くらい、4.可能性は低いほうである、5.可能性はまったくくない、6.今、感染している、7.わからない)、(24) あなたは自分がどの程度、HIV に感染する可能性があると思いますか (1.可能性が非常に高い、2.可能性は高いほうである、3.可能性は中くらい、4.可能性は低いほうである、5.可能性はまったくくない、6.わからない)、(25) 性感染症やエイズを含む性に関する情報を欲しいと思いませんか (1.とても欲しい~5.全然欲しくないの5段階)、(26) 学校のエイズ教育は役立ちましたか (1.非常に役に立っている~5.まったく役にたっていないの5段階+6.エイズ教育を受けていない)、(27) これまで、エイズ検査を受けたことがありますか? (1.ある、2.ない、3.わからない)、(28) これまで、性感染症の検査を受けたことがありますか? (1.ある、2.ない、3.わからない)、(29) これまで性感染症にかかったことがありますか (1.ある、2.ない、3.わからない) で構成されている。

## 【結果】

18歳~19歳男女合計1,030人が調査に参加し、解析対象とした。

### ■ 参加者の属性：



■ 性別:男性 515 人、女性 515 人、合計 1,030 人であった。

SEX 性別

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
Valid 男性	515	50.0	50.0	50.0
Valid 女性	515	50.0	50.0	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

■ 年齢:対象者は 18 歳が 394 人 (38.1%)、19 歳 (61.9%) と 19 歳が 6 割以上であった。

AGE 年齢(才)

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
Valid 18	392	38.1	38.1	38.1
Valid 19	638	61.9	61.9	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

■ 都道府県:参加者は全都道府県から満遍なく参加していたが、参加者が 5%以上の都道府県は、東京都 12.8%が 1 位で、2 位が神奈川県 8.4%、3 位が埼玉県 6.7%、4 位が大阪府 6.2%、5 位が千葉県 5.9%、6 位が愛知県 5.5%であった。

PREFECTURE 都道府県

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
Valid 北海道	47	4.6	4.6	4.6
青森県	10	1.0	1.0	5.5
岩手県	7	.7	.7	6.2
宮城県	27	2.6	2.6	8.8
秋田県	10	1.0	1.0	9.8
山形県	4	.4	.4	10.2
福島県	11	1.1	1.1	11.3
茨城県	23	2.2	2.2	13.5
栃木県	13	1.3	1.3	14.8
群馬県	13	1.3	1.3	16.0
埼玉県	69	6.7	6.7	22.7
千葉県	61	5.9	5.9	28.6
東京都	132	12.8	12.8	41.5
神奈川県	87	8.4	8.4	49.9

新潟県	17	1.7	1.7	51.6
富山県	8	.8	.8	52.3
石川県	11	1.1	1.1	53.4
福井県	1	.1	.1	53.5
山梨県	11	1.1	1.1	54.6
長野県	11	1.1	1.1	55.6
岐阜県	13	1.3	1.3	56.9
静岡県	25	2.4	2.4	59.3
愛知県	57	5.5	5.5	64.9
三重県	10	1.0	1.0	65.8
滋賀県	5	.5	.5	66.3
京都府	42	4.1	4.1	70.4
大阪府	64	6.2	6.2	76.6
兵庫県	37	3.6	3.6	80.2
奈良県	15	1.5	1.5	81.7
和歌山県	4	.4	.4	82.0
鳥取県	9	.9	.9	82.9
島根県	4	.4	.4	83.3
岡山県	13	1.3	1.3	84.6
広島県	29	2.8	2.8	87.4
山口県	7	.7	.7	88.1
徳島県	3	.3	.3	88.3
香川県	4	.4	.4	88.7
愛媛県	8	.8	.8	89.5
高知県	12	1.2	1.2	90.7
福岡県	39	3.8	3.8	94.5
佐賀県	3	.3	.3	94.8
長崎県	12	1.2	1.2	95.9
熊本県	16	1.6	1.6	97.5
大分県	7	.7	.7	98.2
宮崎県	3	.3	.3	98.4
鹿児島県	11	1.1	1.1	99.5
沖縄県	5	.5	.5	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

- 地域：参加地域を見ると、関東地方が38.6%と約40%を占めており、次いで、近畿地方16.2%、中部地方15.9%であった。

AREA 地域

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
北海道	47	4.6	4.6	4.6
東北地方	69	6.7	6.7	11.3
関東地方	398	38.6	38.6	49.9
中部地方	164	15.9	15.9	65.8
Valid 近畿地方	167	16.2	16.2	82.0
中国地方	62	6.0	6.0	88.1
四国地方	27	2.6	2.6	90.7
九州地方	96	9.3	9.3	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

- 職業：参加者の職業は、学生90.6%とほとんどが学生であった。

JOB 職業

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
公務員	2	.2	.2	.2
経営者・役員	1	.1	.1	.3
会社員(事務系)	3	.3	.3	.6
会社員(技術系)	6	.6	.6	1.2
会社員(その他)	3	.3	.3	1.5
Valid 自営業	2	.2	.2	1.7
専業主婦(主夫)	2	.2	.2	1.8
パート・アルバイト	47	4.6	4.6	6.4
学生	933	90.6	90.6	97.0
その他	4	.4	.4	97.4
無職	27	2.6	2.6	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

■HIV・性感染症関連の知識

問1.「HIV 感染者が使用した食器を共有すると HIV に感染する可能性がある」を尋ねた。正解率は、全体では7割前後であり、性別では男性 66.4%、女性 73.2%で女性の方が、正解率が高かった。本設問は HIV に感ずる基礎知識であるが、7割程度では十分ではないと思われる。

Q1 HIV（エイズ）感染者が使用した食器を共有すると、HIV（エイズ）に感染する可能性がある。

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
正しい	123	11.9	11.9	11.9
Valid 正しくない	719	69.8	69.8	81.7
わからない	188	18.3	18.3	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

Q1 HIV（エイズ）感染者が使用した食器を共有すると、HIV（エイズ）に感染する可能性がある。

SEX 性別	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent	
男性	Valid 正しい	80	15.5	15.5	15.5
	正しくない	342	66.4	66.4	81.9
	わからない	93	18.1	18.1	100.0
	Total	515	100.0	100.0	
女性	Valid 正しい	43	8.3	8.3	8.3
	正しくない	377	73.2	73.2	81.6
	わからない	95	18.4	18.4	100.0
	Total	515	100.0	100.0	

問2. 「HIV 感染者が使用したトイレを使うと、HIV に感染する可能性がある」を尋ねた。正解率は、全体では7割前後であり、性別では男性67.2%、女性70.1%で女性の方が、正解率が高かった。本設問はHIVに感ずる基礎知識であるが、7割程度では十分ではないと思われる。

Q2 HIV (エイズ) 感染者が使用したトイレを使うと、HIV (エイズ) に感染する可能性がある。

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
正しい	133	12.9	12.9	12.9
Valid 正しくない	707	68.6	68.6	81.6
わからない	190	18.4	18.4	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

Q2 HIV (エイズ) 感染者が使用したトイレを使うと、HIV (エイズ) に感染する可能性がある。

SEX 性別	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent	
男性	Valid 正しい	70	13.6	13.6	13.6
	正しくない	346	67.2	67.2	80.8
	わからない	99	19.2	19.2	100.0
	Total	515	100.0	100.0	
女性	Valid 正しい	63	12.2	12.2	12.2
	正しくない	361	70.1	70.1	82.3
	わからない	91	17.7	17.7	100.0
	Total	515	100.0	100.0	



問3.「口を使ったセックス(オーラルセックス)で、口から性器に、性器から口に性感染症が感染することがある」を尋ねた。正解率は、全体では7割前後であり、性別では男性74.2%、女性68.0%で男性の方が、正解率が高かった。オーラルセックスによる性感染症については、以前は知識が低かったが、今回の結果より、かなりの割合が知っていることが明らかとなった。

Q3 口を使ったセックス (オーラルセックス) で、口から性器に、性器から口に、性感染症が感染することがある。

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
正しい	732	71.1	71.1	71.1
Valid 正しくない	109	10.6	10.6	81.7
わからない	189	18.3	18.3	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

Q3 口を使ったセックス (オーラルセックス) で、口から性器に、性器から口に、性感染症が感染することがある。

SEX 性別	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent	
男性 Valid	正しい	382	74.2	74.2	74.2
	正しくない	53	10.3	10.3	84.5
	わからない	80	15.5	15.5	100.0
	Total	515	100.0	100.0	
女性 Valid	正しい	350	68.0	68.0	68.0
	正しくない	56	10.9	10.9	78.8
	わからない	109	21.2	21.2	100.0
	Total	515	100.0	100.0	

問4.「性感染症にかかっていると何倍もHIVに感染しやすくなる」を尋ねた。正解率は、全体では4割前後であり、性別では男性42.7%、女性41.4%であり、男女の差はなかった。高校生に対する同じ設問の調査結果（高校生全国調査：7,673人）では男子27.4%、女子28.6%と3割弱であったことから、今回の対象者（18-19歳男女）の方が正解率は10%程度高かったが、それでも50%に達しておらず、STIとHIV感染の相互作用に関する重要な情報がまだ普及していないことが示された。

Q4 性感染症にかかっていると、何倍もHIV（エイズ）に感染しやすくなる。

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
正しい	433	42.0	42.0	42.0
Valid 正しくない	143	13.9	13.9	55.9
わからない	454	44.1	44.1	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

Q4 性感染症にかかっていると、何倍もHIV（エイズ）に感染しやすくなる。

SEX 性別	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent	
男性	正しい	220	42.7	42.7	42.7
	Valid 正しくない	89	17.3	17.3	60.0
	わからない	206	40.0	40.0	100.0
	Total	515	100.0	100.0	
女性	正しい	213	41.4	41.4	41.4
	Valid 正しくない	54	10.5	10.5	51.8
	わからない	248	48.2	48.2	100.0
	Total	515	100.0	100.0	

問 5. 「健康に見えても、HIV に感染していることがある」を尋ねた。正解率は、全体では9割を超えており、性別では男性 93.8%、女性 93.4%であり、男女の差はなかった。HIV 感染に関するこの基礎知識は十分に認知されていることが明かとなった。

Q5 健康に見えても、HIV（エイズ）に感染していることがある。

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
正しい	964	93.6	93.6	93.6
Valid 正しくない	9	.9	.9	94.5
わからない	57	5.5	5.5	100.0
Total	1030	100.0	100.0	

Q5 健康に見えても、HIV（エイズ）に感染していることがある。

SEX 性別	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent	
男性	正しい	483	93.8	93.8	93.8
	Valid 正しくない	6	1.2	1.2	95.0
	わからない	26	5.0	5.0	100.0
	Total	515	100.0	100.0	
女性	正しい	481	93.4	93.4	93.4
	Valid 正しくない	3	.6	.6	94.0
	わからない	31	6.0	6.0	100.0
	Total	515	100.0	100.0	

問 6. 「性感染症にかかると不妊になることがある」を尋ねた。正解率は、全体では 5 割前後であり、性別では男性 47.6%、女性 59.4%であり、男性に比べ女性のほうが正解率が高かった。高校 2 年生に対する同じ設問の調査結果（高校生全国調査：7,673 人）では男子 30.2%、女子 35.0%と 3 割程度であったことから、今回の対象者（18-19 歳男女）の方が正解率は 20%程度高かったが、それでも 6 割程度に留まっており、STI に関する重要な情報がまだ十分に普及していないことが示された。

Q6 性感染症にかかると不妊になることがある。

	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
Valid	正しい	551	53.5	53.5
	正しくない	80	7.8	61.3
	わからない	399	38.7	100.0
	Total	1030	100.0	100.0

Q6 性感染症にかかると不妊になることがある。

SEX 性別	Frequency	Percent	Valid Percent	Cumulative Percent
男性	正しい	245	47.6	47.6
	正しくない	52	10.1	57.7
	わからない	218	42.3	100.0
	Total	515	100.0	100.0
女性	正しい	306	59.4	59.4
	正しくない	28	5.4	64.9
	わからない	181	35.1	100.0
	Total	515	100.0	100.0